



公益社団法人
滋賀県理学療法士会

ニュース

No.217 (2019-6)

<http://www.shiga-pt.or.jp>

2019.12.1発行

発行者：(公社)滋賀県理学療法士会 平岩 康之
〒520-3201
滋賀県湖南市下田909-9

編集者：小倉 正和(公立甲賀病院)
大谷明日輝(公立甲賀病院)

印刷所：(有)東 呉 竹 堂(ひがし印刷)

高校野球選手へのサポート活動について

一般財団法人 競馬共助会 栗東診療所
久田 信吉

高校野球選手へのサポート活動を理学療法士が行っていることをご存知ですか。私達は「滋賀県アスリートケア研究会」という有志の団体で毎年高校野球滋賀県大会のスタッフとして選手のサポートを行っています。滋賀県における高校野球サポートは2002年夏の選手権予選大会から開始しました。開始当初は、準決勝・決勝の3試合、2003年準々決勝(ベスト8)、2005年よりベスト16からの15試合をサポートしています。また、大会前に滋賀県内全加盟校に案内を送り、開会式直後にテーピング指導・処置を希望する選手に行っています。大会サポートを行う理学療法士は1球場に3～6名が待機し、チームからの要請や滋賀県高等学校野球連盟(以下、高野連)からの依頼に対しサポートを行っています。10日間の大会サポート期間で述べ60名程のスタッフで対応しております。大会中のサポート内容としては、試合開始1時間30分前に集合し、試合前処置として各チームに出向き傷害予防・外傷等に対しテーピング施行を中心とした処置を行います。試合中はデッドボールや選手同士の交錯などによる急性外傷への対応、熱中症様症状者に対する対応を行い、試合後は投手のクーリングダウン、試合中アクシデントがあった選手への処置対応を行います。準決勝、決勝は医師の指示のもと処置を施行しています。昨今注目される熱中症対策としては、大会前の部長監督会議に出席させて頂き、ベンチ内での飲水の呼びかけ、クーリングなどを実施して頂くように啓発を行っています。球場では大型扇風機と霧吹きを使用し気化熱を利用した体温上昇防止策を行うなど様々な活動を高野連と協議し行っております。

サポート活動をより良いものにし、また理学療法士として知識、技術の向上を目的に実践的テーピング研修会を実施しております。高野連、高野連加盟校、選手に協力頂き、練習を行っている現場に伺い、実際に選手をその場で評価しテーピングを施行。練習に戻って頂き効果を確認、再評価、再施行を行うという研修会内容です。選手へのテーピング施行後は参加者とディスカッションを行い、評価、施行内容を検討し知識を深めることを目的に実施しております。

臨床以外の経験がなく、現場が初めてで不安な方も多くおられると思いますが、安心して下さい。経験のあるスタッフと共に現場で選手のサポートをしてみませんか。ご興味のある方は是非ご連絡ください。

<連絡先> 滋賀県アスリートケア研究会事務局：sptshiga@gmail.com



おおつ健康フェスティバル2019 活動報告

滋賀県理学療法士会 公益事業部
ヴォーリズ記念病院 安居 伸悟

2019年10月20日、おおつ健康フェスティバルが開催されました。昨年同様、大津ブロックの士会員が中心となり、「シルバーリハビリ体操」の指導を3つのブースに分けて行いました。今年も計78名の方に参加して頂き大変盛況でした。毎年本ブースでの体操指導を楽しみにしている方が増えており、顔見知りの方もかなり増えてきたように感じました。今後も本事業のさらなる発展、地域への貢献を目標に、本事業に取り組んでいきたいと考えております。最後になりましたが、参加されたスタッフの皆様本当にお疲れ様でした。



しごとチャレンジフェスタ 2019

滋賀県理学療法士会 公益事業部
ヴォーリズ記念病院 田中 潤

しごとチャレンジフェスタ 2019が、10月26日と27日の2日間の日程で開催されました。会場は長浜バイオ大学ドームで行われました。しごと体験教室は2日間で39名の参加があり、理学療法士の働いている場面の紹介や理学療法士になるための教育課程の説明をさせてもらい、その後に血圧や関節角度の測定、バランスやジャンプ力の測定など全部で7項目を評価してもらいました。理学療法士役や患者さん役となり体を評価することで、楽しみながらお仕事を体験して貰いました。理学療法士になりたいという子供達の熱い眼差しを感じることができ、スタッフも嬉しく思いました。今後も子供達の活躍に、少しでも貢献をさせていただきたいと思っております。



第5回 滋賀県在宅医療多職種キャリアアップ研究会 活動報告

滋賀県理学療法士会 公益事業部

ヴォーリス記念病院 安居 伸悟

2019年9月8日(日)「第5回滋賀県在宅医療多職種キャリアアップ研究会」が、G-NETしが【大ホール】にて開催され、昨年度に引き続き参加させていただきました。研究会全体で113名の参加がありました。

今回のテーマは「退院支援」。退院後もハッピーな人生を送るために退院にあたる様々な課題を様々な視点から見て、多職種で解決法を学ぶことが目的でした。プログラムは3部構成で、1部は石巻市立雄勝診療所 長 純一先生による記念講演、2部は各ブースにおける体操や介護サポートロボなどの実体験、3部は症例提示によるグループディスカッションでした。

第2部「実体験をしてみる」のプログラムにおいて、滋賀県理学療法士会では医師・看護師・社会福祉士など医療・介護従事者を対象に「からだの回旋」「からだの前屈」の可動域改善のための体操指導をさせていただきました。

計40名以上の方に体操を体験していただき、体操後の可動域の変化を感じていただきました。体操を通じて多くの多職種の皆様に理学療法士の存在の周知、より理学療法士の存在を身近に感じていただける良い機会になったのではないかと考えております。

今後もこのような活動を継続していきたいと考えております。



障がい者スポーツ支援部だより

障がい者スポーツ支援部 石井 隆

～障がい者スポーツ指導員養成講習会について～

これから、障がい者スポーツに関わりたいけれどきっかけがない、どこで情報が得られるかわからない方には、日本障がい者スポーツ協会の指導員養成講習会をお勧めします。筆者が受講した初級（2016年、滋賀県障害者福祉センター）、中級（2019年、首都大学東京）コースについて、筆者の感想も交えて、講習会の概要をお伝えします。なお、協会には他にも様々な資格がありますが、指導員資格は毎年度の更新が必要です。

<障がい者スポーツ指導員養成講習会>

	初級	中級
受給資格	18歳以上の者。	初級障がい者スポーツ指導員資格取得後、2年以上経過している者で、かつ80時間以上の活動経験を有している者。または、(公財)日本スポーツ協会公認指導者、(公社)日本理学療法士協会登録理学療法士。
主な講習内容	福祉施策と障がい者スポーツ、意義と理念、安全管理、障害の理解とスポーツ、障害に応じたスポーツの工夫・実施、障がい者との交流など。	スポーツ心理学や栄養、トレーニング基礎知識、全国障害者スポーツ大会の障害区分、視覚障がい者や重度障がい者スポーツの実習、車いすスポーツや全国障害者スポーツ大会実施競技実習等。講習会後に活動レポート提出。(理学療法士対象)
講習時間	18時間以上(4日間)実技は4時間以上	29.5時間以上(4日間)実技は13時間以上。(公認スポーツ指導者・登録理学療法士以外の対象者の講習会は56時間以上)
講習会参加者 (筆者記)	県内の特別支援学校の教員、すでにスポーツボランティアをされている方、これからしようと考えている方。高齢者、車いすや聴覚障がいの方など様々。	北は宮城県から南は沖縄、病院・医院や学校、役所、センター勤務等の理学療法士。障がい者スポーツのボランティアを始めたばかりの方から日本ナショナルチームの海外遠征に帯同している者まで。40名中、11名が初級障がい者スポーツ指導員資格所持者。
頻度・主催	年1回・滋賀県障害者スポーツ協会	年2～3回程度・日本理学療法士協会

講義・実習だけでなく、受講者間の情報交換も大変有意義でした。初級コースでは、地元ですでに活動されている方から身近な情報が得られますし、滋賀県内の各競技団体に所属されている方から様々な活動内容を教えていただくこともありました。また、これから障がい者スポーツに関わろうという初心者も少なくなく、楽な気持ちで受講することができました。受講と同時に滋賀県障害者スポーツ協会の指導員登録をすることになりますが、競技会や練習会、交流事業へのお誘いの案内を送って来てくれます。特別な技術がなくても希望すればだれでも参加できます。理学療法士の立場というよりも、「お役に立てることはなんでもしまっせ」というスタンスのほうが入り込みやすいかと思えます。

東京で行われた中級コースは、居酒屋での懇親会が一番楽しかったです。講師も同席され、全国障害者スポーツ大会の状況や障害者スポーツの現状など詳しく聞くことができました。障がい者スポーツに関わっている理学療法士からは、現場での具体的な関わり方や課題などを共有できる有意義な機会でした。年代や職種は様々ですが、理学療法士という同じベースということもあり、より充実した情報交換ができました。講習会は終了しましたが、全受講者が参加しているグループSNSで各々の活動について情報交換しています。

障がい者スポーツ指導員の活動は平日だけでなく、週末や祝日にありますので、ぜひ、皆さんも受講してみてはいかがでしょうか。なお、理学療法士対象の中級障がい者スポーツ指導員養成講習会は、いつも受付初日に受講定員をオーバーする申し込みがあるとのことでした。

厚生部 事業報告 2019年度滋賀県理学療法士会ゴルフコンペ

若草診療所 松田 滋

今年度も厚生部事業として滋賀県理学療法士会ゴルフコンペを開催しました。

9月15日(日)に名神栗東カントリー倶楽部にて開催させていただいた当事業には、14名の参加を頂きました。参加された皆様本当にお疲れ様でした。当日は9月の中旬とはいえ30度を超える暑さでしたが、秋を感じさせる天高い青空の下、楽しい交流の場を持つことが出来ました。

今年度のスタートは久保さん(甲西リハ)の始球式から開幕しました。結果は、スコアがあまり良くななくても優勝の可能性のあるハンデ戦の中、素晴らしいスコアをたたき出した安田さん(滋賀医療技術専門学校)の優勝で幕を下ろしました。

鈴鹿山脈の麓で季節の移り変わりを感じつつ、県下の士会員が交流できたことを感謝しております。初参加の方々も日常の臨床とは異なる、リラックスした雰囲気楽しくプレーしていただいたと思っております。ゴルフに興味のある方々、経験年数にかかわらず交流の場を広げたいと思われる方は是非来年度の参加をご検討ください。



第10回 施設対抗フットサル大会が開催されました！

2019年10月20日、施設対抗フットサル大会を開催致しました。今回は、節目となる第10回大会でした。少しこれまでを振り返りながら報告したいと思います。

“フットサルを通じて他施設と交流できればいいな”と考え、企画書を申請、実現した記念すべき第1回目は2010年に滋賀医大の体育館で開催されました。第1試合からヒートアップしたため、慌ててコートを最大限まで広げたことをよく覚えています。また第5回は唯一雨で順延となりました。今秋は週末に雨が多く、毎回のごとく天候を心配しましたが、当日はよく晴れて無事開催することができました。今回も会場はFUTSAL POINT守山で開催しましたが、本会場は第6回から使用しております。第7回からは審判員も雇うようになり、公正なジャッジの下、円滑に運営できております。



ワンデイの大会ですので、ご家族一緒に参加して下さる方も増えてきました。お子様も一緒に楽しめるようレクリエーションにも力を入れております。今回の企画はどうでしたか？応援に来た方も一緒に楽しんでいただける大会になればと毎回願っております。

さて、節目となる第10回大会の優勝チームは、甲西リハビリ病院でした。通算4回目！下位トーナメント優勝チームは初出場の済生会守山市民病院でした。どちらも最後までお疲れ様でした。今回も熱く楽しい試合ばかりでしたね。得点王には、恥ずかしながら男性が私(滋賀医大) 3ゴール(閉会式まで残っていた方のみ得点王の権利が得られるため、偶然かつ幸運でした)、女性は宮井さん(滋賀医大) 7ゴールでした。参加チームからの投票によるグッドチーム賞には滋賀医科大学医学部附属病院が選ばれました。今年はこのチームも女性の活躍が目立ち、女性なしでは勝てない傾向になってきております。また今回も参加チームの皆様が他チームと交流されている姿を見て、嬉しく思っております。

この9年間励ましや御礼・御助言等、様々なお言葉を頂戴しました。中には「PT以外の職種が多い」「学生や業者が混じっている」などのご意見もいただきました。この点について、私見を少し述べさせていただきます。現在はダイバーシティ(多様性)への対応が求められる時代です。私たちはPTですが、職場では多くの職種と協働しています。またPTだけでは参加が難しいご施設もあります。色々な職種・立場の方がいてもいい、チーム医療を行う私たちが施設外でも多職種と一緒に楽しく活動する、そのような催しをPT士会が主催することに意味はあると感じております。様々なご意見があると思いますが、是非ご理解賜り肯定的に捉えて下されば幸いです。

毎回、自分の拙い司会・運営を反省するばかりなのですが、厚生部奥田部長はじめ実行委員の皆様素晴らしいご支援・運営によって、ここまで来ることができました。そして、ご参加いただいた皆様の大会特別ルールなどへのご協力あってのことと改めて感謝いたしております。本大会の開催・運営にあたり、ご理解とご協力をいただきましたすべての皆様にも厚く御礼を申し上げます。今後も皆様のご意見をいただきながら、より良い運営を目指して参りますので今後とも宜しく願い申し上げます。

厚生部 澁川 武志

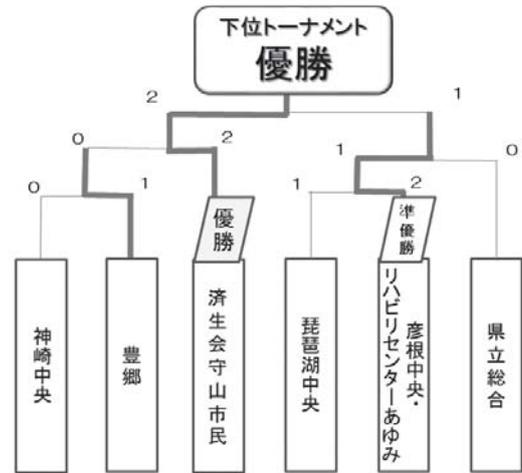
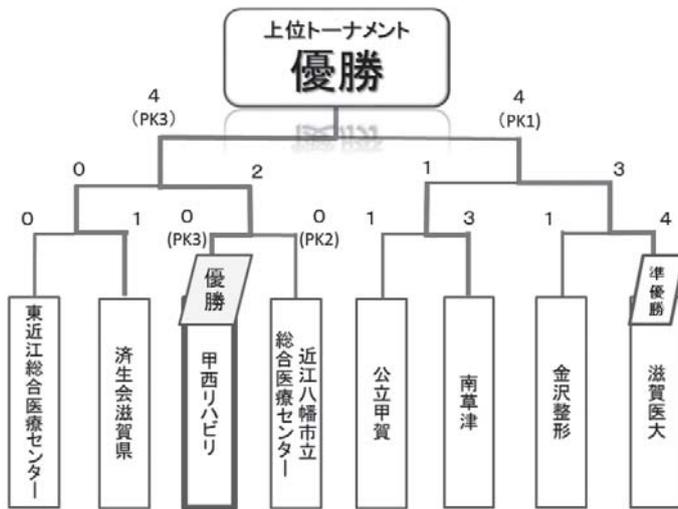




試合風景



交流イベント「10走中(逃走中)」と題した鬼ごっこ サングラスのハンターが追いかけてました!



上位トーナメント優勝
甲西リハビリ病院チーム



下位トーナメント優勝
済生会守山市民病院チーム

こんな本

読みました!



金沢整形外科クリニック

中島 彩

【題名】
「夜行」
【著者名】
森見登美彦
【出版社】
小学館文庫



京都の英会話スクールで出会った6人は、鞍馬の火祭りに出かけ、その夜長谷川さんは失踪した。失踪から10年後、同じメンバーで鞍馬の火祭りに行くことになり、京都で再会する。集合場所へ向かう途中、大橋君は「柳画廊」という画廊へたどり着き、そこで「夜行」という作品に出会う。作品には共通点があり、顔のない女性がこちらに向かって右手をあげている。「夜行」という作品のことが忘れられず、話をすると皆が「夜行」を知っており、「夜行」にまつわる不思議なエピソードについてそれぞれ語り出す。

「夜行」と「曙光」二つの世界が入り混じることで起こる不思議な出来事。本作には、「尾道」「奥飛騨」「津軽」「天竜峡」「鞍馬」が登場する。それぞれのエピソードには、自分とはどんな人間なのか、自分の見えない一面について、がテーマの作品のように感じた。しかし、読み終えた後も謎は謎のまま残り、読者の想像力に委ねられる1冊である。

こんな本

読みました!



大津市社会福祉事業団

並河 孝

【題名】
「老いと記憶」
【著者名】
増本 康平
【出版社】
中公新書



この本は、心理学者である著者が記憶の基礎から認知予防の最新情報まで幅広く学べて、かつ780円と安価で読みやすい本である。障がいがあり認知症状を持つ人を練習する機会が多いが、認知症があるので練習が進まないとか、良くなると逃げ道になる事が多い。認知機能や認知症者の症状を理解するためにも記憶について学ぶことが練習に役立つ。

20歳を過ぎれば一日85000個の脳細胞が死んでゆくのであるが、不思議なのは脳全体に均質に変化がみられるのではなく、前頭葉⇒側頭葉⇒頭頂葉⇒後頭葉の順に萎縮の影響を受けやすいようである。また記憶の中に衰える記憶と衰えない記憶がある。大型スーパーに買い物に行って、帰る時に車を停めた場所を忘れてウロウロすることがあるが、車の運転を忘れることはない。記憶が情報を蓄えるだけのものであれば、加齢とともにすべてが低下するはずであるが、そんなことはない。この本の中で私が一番関心を持ったのは、今地域で流行して行われている認知予防である『脳トレ』についてである。著者は効果について否定的であり、それが一般論のようである。脳トレと呼ばれる練習によって特定の機能が向上するのだが、日常生活の中でのもの忘れも改善するといった『効果の転移』は明確ではなく、イリノイ大学の研究ではその効果に根拠がないときっぱり否定されている。実際熱心に行われている地域の現場ではショックなことである。脳トレ等に関心のある方は是非購入してご一読願いたい。

第35回滋賀県理学療法学会 一般演題募集

開催日時：2020年7月5日(日)
会場：長浜文化芸術会館
テーマ：創造、実践、そして発信へ

演題募集要項

- [1] 今大会の演題発表概要
□述発表形式で行います。
(演題申込み数により、発表形式の変更あり)
- [2] 発表時間
□述発表、ポスター発表：1演題につき10分
(発表時間7分、質疑時間3分)
- [3] 応募資格
筆頭演者は、公益社団法人 滋賀県理学療法士会会員に限ります。
- [4] 応募方法
抄録の投稿をもって受付と致します。
応募先E-mailアドレス：
shigaptgakkai2020@yahoo.co.jp
- [5] 応募期限
2019年12月23日(月)～2020年2月23日(日)
17時まで。
締め切り間近は問い合わせが集中しますので、余裕を持って応募頂くことをお勧めします。
- [6] 応募上の注意
演題は、未発表の物に限ります。応募された演題(抄録)と当日の発表内容が大幅に変わることを無いようお願い致します。ヘルシンキ宣言に沿った研究であることをご確認ください。
- [7] 演題審査及び決定通知
演題の採択は、本学会大会準備委員が定めた演題審査員(査読者)による審査結果を参考に大会長が決定し、発表形式についても学術局の判断で通知致します。2020年4月中に応募者のメールアドレス宛に通知致します。
- [8] 抄録の作成
抄録集の事前配布を予定しています。『演者名』『所属』『キーワード(3つ)』『本文』の順でWindows版Microsoft Wordにて作成し、電子メールに添付してください。様式は縦A4用紙に横書きにて、一行の文字数は26文字以内、行数は50行以下とし、印字

範囲が横8.5cm、縦25.0cmの長方形におさまるようにしてください。

文字の大きさ等については、演題名はMSゴシック体12ポイント、その他の文字はMS明朝体10.5ポイントに設定してください。

本文には【目的】、【方法】、【説明と同意】、【結果】、【考察】、【まとめ】、などの小見出しを付け文字数は全角換算で1,000文字以内としてください。

機種依存文字、外字は使用しないでください。図表は抄録に含めないでください。

抄録中に倫理規定に関する記述がない場合には登録できませんので、注意してください。

[9] 公益社団法人 滋賀県理学療法士会誌への掲載
公益社団法人 滋賀県理学療法士会誌への掲載・投稿を推薦する場合があります。

[10] 発表演題申し込みに関する問い合わせ、および抄録の問い合わせ先

市立長浜病院

リハビリテーション技術科 南部 利明

Tel:0749-68-2300(代表)

E-mailアドレス：

shigaptgakkai2020@yahoo.co.jp

メールでのお問い合わせの際は必ず題名に「第35回滋賀県理学療法学会に関する問い合わせ」と記載し、本文中に氏名、連絡先を添えていただきますようお願い致します。

多数のご応募をお待ちしています。



お待ちしております！ 2019年人材育成事業 キックオフ 研修会!! ～地域包括ケアシステムの実際！ 本当の自立支援とは!?!～

日時 2020年1月12日(日曜日) 13:00(受付12:30～)～16:30
会場 滋賀県立総合病院研究所講堂 滋賀県守山市守山5-4-30
参加費 無料
対象 医療・保健・福祉業務に従事されている方

開催趣旨

当研修会は滋賀県POS連絡協議会人材育成事業として、介護予防・日常生活支援総合事業等に効果的に関与し、県民の自立支援を促進する人材を育成すること。また急性期・回復期・生活期の分野で活躍する専門職がICFの視点で情報共有・連携することの重要性を学び、活動と参加に資するリハビリテーションの提供ができる人材を育成することを目的に開催致します。

今回埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 川越雅弘氏をお招きし、ご講演頂きます。

Key sentence

人口動態の変化に伴っての医療情勢 / 急性期・回復期・生活期セラピストに求められていること / 市町の役割や地域支援事業の成功例

プログラム

13:00～13:30 『キックオフ宣言!!』 3士会 会長挨拶
『圏域地域リハビリテーション人材育成の体制整備について』
轟 紘子 氏〔B・O・Hケアサービスセンター〕

13:30～16:30 特別講演

地域包括ケアの構築・深化に向けた制度改正の動向とリハ職種に期待される役割
— 自立支援・重度化防止の視点から —

講師：川越 雅弘 氏〔埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 教授〕

16:30 『閉会』

取得可能ポイントについて

PT：新人教育プログラムC-5 地域リハビリテーション 士会指定事業
OT：生涯学習教育制度 基礎研修ポイント

申し込みについて

滋賀県理学療法士会HP、もしくは、下記アドレスまで申し込みの連絡をお願いします。

お申込み先・問い合わせ先 琵琶湖大橋病院 森 美穂 宛 mail:reha@boh.or.jp

申し込み期限 2019年12月27日(金)

※当日参加も受け付けておりますが資料の都合上事前申し込みをお願い致します。

主催：公益社団法人滋賀県理学療法士会 一般社団法人滋賀県作業療法士会 滋賀県言語聴覚士会
滋賀県POS連絡協議会



滋賀県理学療法士会・滋賀県作業療法士会・滋賀県言語聴覚士会 共同主催
2019年度 滋賀県訪問リハビリテーション実務者研修会

今年度も、日本理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会そして全国訪問リハビリテーション振興委員会が主催し、実務者研修会の開催を企画いたしました。今年度は、リハ職が地域で活躍できるための制度化をねらい、地域課題にフォーカスを当ててリハ職としてどのような動きができるかを検討していくことを目的として実施します。2日間の中で、在宅や地域の分野で活躍されている講師の方々にもご講義いただきます。また、現場での悩み等も気軽に相談できる研修会にしたいと考えております。今年度も楽しみながら共に学びましょう！

開催日時：2020年1月18日(土) 13:30～17:30(受付13:00～)

2020年1月19日(日) 9:00～16:30

会場：近江八幡市立総合医療センター よしぶえホール (昼食は各自でご用意ください)

参加費：無料

対象：訪問リハビリに携わっているセラピスト、訪問リハビリに興味のあるセラピスト、未経験者も大歓迎！

内容：1月18日(土)

13:00～ 受付開始

13:30～ 開会の挨拶 滋賀県言語聴覚士会会長 家守秀知 氏

13:35～ 全国訪問リハビリテーション地域リーダー会議の報告

13:50～ 総合特区の現状についてのDVD鑑賞

テーマ：「訪問リハビリテーション振興財団の被災地支援の実際と活動報告」

14:15～ 実務者研修会プロローグ ～訪問リハビリへのいざない～

「訪問リハビリ3年生！訪問リハって素敵です!!」

講師：ワンモア訪問看護リハビリセンター 理学療法士：坂野喜一 氏

15:00～ フィジカルアセスメントについて ～心臓リハビリテーションの観点から～

講師：近江八幡市立総合医療センター 理学療法士：奥村高弘 氏

(※1日目終了後に近江八幡駅周辺で懇親会を予定しております)

1月19日(日)

8:30～ 受付開始

9:00～ 症例発表 ①小児分野の訪問リハビリについて

オリブ訪問看護ステーション 作業療法士 前川裕子 氏

②精神分野の訪問リハビリについて

訪問看護ステーション 開く 作業療法士 森志勇士 氏

10:30～ 「訪問セラピストの日頃の悩みを相談しよう！」(グループワーク・発表)

12:00～ 昼休憩

13:00～ 特別講義

テーマ：地域課題の発掘と課題解決に向けた取り組みについて

講師：理学療法士 逢坂伸子 氏

(大東市保健医療部高齢介護室兼地方創生局)

14:40～ グループワーク(滋賀県の地域課題についての意見交流)

16:30～ 修了証発行(2日参加者)終了挨拶

申し込み：2日間の参加にてお願いいたします。

別紙申し込み用紙、またはメールにて、各事業所単位でお申し込みください。(定員60名程度)

(①氏名(ふりがな)②所属 ③各協会番号 ④職種 ⑤経験年数 を記載の上お申し込みください)

また、申込用紙の下欄に訪問の現場で経験した悩みや困りごとを記載していただくと幸いです。

申込締め切り：12月20日

申し込み・問い合わせ先：老人保健施設リハビリセンターあゆみ

FAX：0748-42-0111 MAIL：shigahoumon@yahoo.co.jp

申し込み
QRコード



滋賀県 POS 連絡協議会 湖南ブロック 人材育成事業事例検討会

無料

日 時 2020年1月29日(水) 19:00~21:00 (受付18:30~)
 会 場 草津保健所 3階会議室 (草津市草津3-14-75)
 対 象 医療・介護・保健・福祉業務に従事されている全ての方

研修会の主旨 ☆こんな方は、是非ご参加ください☆

- ☆活動と参加に関わるネットワークを拡大したい！
- ☆ICFってなに?? ICFの視点を用いて生活をみられるようになりたい！
- ☆多職種協働に必要な「コミュニケーションスキル」を習得したい！

プログラム

- 報告「多職種とともに目指す自立支援」
～ 市町地域ケアマネジメント力向上支援事業の経過報告 ～
・守山市地域包括支援センター 主任保健師 日下部 優 氏
・草津保健所 副主幹 保健師 古川 由佳子 氏
- 人材育成事業オープニングセミナー
・福井県リハビリテーション専門職協議会 事務局長 小林 裕和 氏
- 事例報告
「要支援2、脳卒中後の60代男性への介護保険サービス介入と卒業に向けた取り組み」
・南草津病院 理学療法士 小林 桜 氏
- 事例検討会 コメンテーター
・ケアマネジャー 吉村 明浩 氏【草津総合病院】
・理学療法士 秋定 優太 氏【ケアポート栗東】
・作業療法士 乙川 亮 氏【滋賀県立リハビリテーションセンター】
言語聴覚士 平川 圭子 氏【滋賀県立総合病院】



申し込み先

QRコードから、必要事項を打ち込みの上、お申込み下さい。
 下記問い合わせメールアドレスでの申し込みもお受けいたしております。
 ①氏名 ②所属事業所・病院・施設等 ③職種 を明記の上、送信してください。

問い合わせ先：市立野洲病院 リハビリテーション課 中井宛
 Tel：077-587-1332(代) Mail：pos.konan.jinzai@gmail.com

申し込み期限：1月19日(日)当日参加も可能ですが、極力事前申し込みをお願い致します。

日程	10月13日(日) 13:00~	10月28日(月) 18:30~	11月14日(木) 18:30~	1月17日(金) 18:30~	1月29日(水) 19:00~	2月14日(金) 18:30~
開催圏域	滋賀全域	高島	大津	湖北	湖南	甲賀
会場	滋賀県立総合病院 研究所講堂	高島市民病院	大津市役所	長浜赤十字病院	草津保健所	まるーむ まちづ くりセンター

主催：滋賀県POS連絡協議会 湖南ブロック
 共催：南部振興局(草津保健所)、滋賀県理学療法士会、滋賀県作業療法士会、滋賀県言語聴覚士会
 生涯学習獲得ポイント：PT=士会指定事業 OT=生涯教育基礎2ポイント 他：調整中

2019年度定例研修会 第3回 滋賀県神経理学療法研究会研修会

講師 阿部弘明 (一般財団法人広南会 広南病院 理学療法士)

テーマ 脳卒中重度片麻痺者の歩行再建

日時 2020年2月23日(日) 10:00~15:30 (9:30受付開始)

内容：脳卒中後のリハビリテーションにおいて歩行能力の再建は最も重要なゴールの一つです。歩行能力には運動麻痺の重症度が関連し、現時点においては皮質脊髄路損傷の程度が機能障害である運動麻痺の重症度に強く関わることは明白です。重度の片麻痺を呈した症例の歩行能力を再建するために、急性期からどのように関わるべきか、このことについて我々は模索し続けてきました。我々の介入根拠となる歩行の神経機構、バイオメカニクスなどについて解説し、我々のアプローチの有効性を検証した結果を踏まえてお話しさせていただきます。

対象：理学療法士および関連職種

定員：120名

会場：ピバシティホール (ピバシティ彦根)
〒522-0044
滋賀県彦根市竹ヶ鼻町43-1

研修会費：滋賀県理学療法士会員：無料
その他：1000円

備考：都道府県士会主催の講習会・研修会履修ポイントの10ポイントが付与されます。また、新人教育プログラムC-1のポイントが認証されます。当日は会員証(緑のカード)を御持参下さい。会員証を非所持の場合、生年月日を確認することになります。領収証が必要な場合は、受付時に申し付け下さい。

お問い合わせ：滋賀県理学療法士会 神経理学療法研究会
西澤一馬
(sigaptsinnkei@gmail.com)

申込方法：下記URLリンクより申込み下さい。
申し込み期間は、2019年11月16日～2020年2月9日、応募者多数の場合は、先着順に採択とさせていただきます。下記フォームは期間外では使用できず、定員になり次第閉鎖させていただきます。(滋賀県理学療法士会ホームページでも申込み可能です。)
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScAzpT_CfJ0sYHQpys2v6TtrKcQOrT_Qol7YquYdlJ-yLFq8Q/viewform?usp=sf_link



理事会だより 2019年度第2回公益社団法人滋賀県理学療法士会理事会報告

開催日時：2019年9月12日(木) 18時10分～21時20分
開催場所：滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション部
出席理事：平岩康之 柴田健治 弘部重信 松岡昌己 酒井英志 川崎浩子
吉田 環 久保貴弘 森智子
出席監事：本白水博 前川昭次

審議により以下の議案が承認されました。

第1号議案 ペーパーレス化について

会員へのサービスの充実、情報提供のためできる限り段階的にペーパーレス化を行う。まずは、士会ニュースは発行回数や配布数の検討を始める。ペーパーレス化に伴い、会員向けのメールマガジンサービスを開始し、今年度にメールアドレスを収集し、士会ニュースを補う形でメールマガジンを配信する。ペーパーレス化に対するパブリックコメントを募集、費用対効果について分析する。

第2号議案 ブロックの再構築について

今後新生涯学習システム導入にあたりブロックでの症例報告、座学研修などが必要になる。そのため、ブロックの中でOJT活動を通じて、近隣の施設と連携し、何でも相談しあえる環境を構築していきたい。当該ブロックごとに管理者をおきネットワークを構築していく。

第3号議案 研修会等の会員外参加費料金設定について

次年度より、研修会等の会員外参加料金を半日(3時間程度)3000円、1日(6時間程度)6000円と変更する。

第4号議案 介護保険部の名称変更について

次年度より、介護保険部を介護報酬部と名称を変更する。

第5号議案 会長の日当・宿泊費の改定について

士会長を会の代表者として他の理事との差別化を図るため、日当を変更する。日当を現行の4時間以内1500円から3000円、一日3000円から6000円、宿泊費を現行10000円から12000円(政令指定都市14000円)に引き上げる。

○報告事項

- ・2019年度都道府県理学療法士会事務局長会議報告 9月1日 岩倉出席
2020年度理学療法士講習会の公募方法の変更、新会館の進捗状況、55周年記念事業、都道府県理学療法士会事務局職員研修会についての情報提供がありました。今後順次会員の皆様へ情報提供していきます。
- ・執行報告
2019年度上半期の4名の執行理事の活動報告がなされました。



事務局 だより

2019年12月分



- 会員数名 在会 1,076 名 (2019 年 12 月 1 日)
- 賛助会員 5 社

【重要】新生涯学習制度の資料・案内がマイページに掲載されています。

生涯学習制度の開始に伴い、協会マイページにアクセスする必要がありますので、ログインできない方は、至急対応をお願い致します。

協会マイページのログインID・パスワードを紛失した方は、日本理学療法士協会 HP 内に案内がありますので、ID・PWの再発行の手続き等よろしくをお願いいたします。

(<http://www.japanpt.or.jp/inquiry/faq/mypage/system20002.html>)

【重要】管理者ネットワークに登録しているメールアドレスの変更について

登録しているメールアドレスを変更されましたら、お手数ですがメール変更の連絡をお願い致します。

メールアドレス変更の連絡先 事務局メールアドレス : jimukyoku@shiga-pt.or.jp

会員異動について

会員異動の手続きができていないことでトラブルが増えています。

所属施設の変更、県内外への異動、姓の変更、自宅住所の変更などがありましたら必ず、マイページからお手続きください。異動手続きを怠りますと協会や士会からの発送物がお届けできないばかりか、転居後新しい住民の方にご迷惑をおかけしますのでご協力お願いいたします。

県内の病院、施設等にお勤めの方は、必ず所属施設をマイページで登録しておいてください。

日本理学療法士協会ホームページ

<http://www.japanpt.or.jp/>

問い合わせ先

〒520-3201

湖南市下田 909-9

滋賀県理学療法士会事務局 岩倉浩司 宛

問い合わせ jimukyoku@shiga-pt.or.jp

編集後記



早いもので令和元年も過ぎ去ろうとしています。

会員の皆さんはどんな1年を過ごされましたか？

消費税は10%になり、理学療法士を取り巻く環境も変化し続けています。

変化の流れに取り残されないように新しい情報の in put、out put を続けながら自己を改変し続けられるようにしたいなあと思う今日この頃です。

滋賀県理学療法士会問い合わせ先一覧

✓ 事務局 公文書発行

jimukyoku@shiga-pt.or.jp 担当：岩倉

TEL：0748-78-0620 FAX：0748-78-0621

※お問い合わせ等は、できる限りメールにお願いいたします。

✓ 入会、異動、休会

異動届は協会ホームページ(マイページ)上から行うことになっています。

<http://www.japanpt.or.jp/>

✓ 財務関係

kaikei@shiga-pt.or.jp 担当：滋賀医大 平岩 川波 TEL/FAX 077-548-2670

✓ 発送物関係 総務部

reha@otsu.jrc.or.jp 担当：大津赤十字病院 リハビリテーション科 奥田

折込発送等は、士会ニュースと同月(偶数月)のみの発送となっています。

折込発送物等あれば、奇数月の毎月25日までにお申し出ください。

折り込み発送物の発送先の発送範囲についてもお知らせください(会員のみ、関連団体込など)。

各部の事業の配布物に関しても発送に関しては総務部にご相談ください。

✓ ホームページ原稿受付

担当：kojin@belle.shiga-med.ac.jp 担当：滋賀医大 岩井

ホームページ <http://www.shiga-pt.or.jp>

✓ 士会ニュース原稿受付 広報部

shigaptnews@yahoo.co.jp 担当：公立甲賀病院 山添

✓ 研修関係 研修部

spta.kenshu@gmail.com 担当：小児保健医療センター 清岡

✓ 介護保険部

ptkaigohokennbu@yahoo.co.jp 担当：信楽中央病院 神山

✓ 診療報酬部

toyosato.rha@toyosatoor.jp 担当：豊郷病院 磯崎

※お問い合わせ等の際には、メールの件名に「診療報酬部の問い合わせ」と明記してください。

✓ 生涯学習関係 生涯学習管理部

m-ikeya@pt-si.aino.ac.jp 担当：滋賀医療技術専門学校 池谷 TEL 0749-46-2322

✓ 厚生事業関係 厚生部

ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp 担当：東近江市蒲生医療センター 奥田

✓ 公益事業部

shigapt_k_mk2016@yahoo.co.jp 担当：甲賀市水口医療介護センター 岸本

✓ 障がい者スポーツ支援部

ptshiga.parasports@gmail.com 担当：石井